

# 経営を支える無利子融資制度

新型コロナの影響により経営に支障をきたしている県内中小企業の皆さんの声に応え、全国でも優れた政策の一つとして、商工業振興資金の貸付を市町村と一体となって行っております。年1.6%の利子を県と市町村が同率の0.5%を、残りの0.6%を金融関係が支援し、更に、山形県信用保証協会の保証料（県が64億円・市町村47億円・保証協会28億円相

当）につきましても、利用者の負担をゼロにして県内経済を支えています。

この取り組みについては、多くの中小企業の方々から高い評価を頂いており、7月17日現在4,326件1,168億円の融資となっております。融資に関しては、条件がありますのでご相談は最寄りの金融機関までお願い致します。

## 相談体制も充実して対応



新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト

### 受診相談センター

#### 感染が心配される場合

- 風邪症状・発熱が続いている
- 強いだるさ、息苦しさ
- 発症者と濃厚接触
- 海外から帰国直後 など

① ☎電話相談

#### ● 山形県の受診相談センター

## 0120-880006

(フリーダイヤル、4回線)  
【毎日24時間対応、土日祝日含む】

② 必要な場合は  
受診をご案内します

#### 新型コロナ感染症外来

(県内17の医療機関)

#### 検体を採取し検査へ

今年の県政報告会につきましては、新型コロナウイルスの感染防止を考慮して、延期そして中止とさせて頂きました。参加を予定されておられました皆さんにはご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っております。今後は、新しい生活様式を考慮し、何が出来るのか実行委員会の皆様と検討して参ります。

皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

新所属委員会：総務委員会（委員）、健康医療・子育て支援対策特別委員会（委員長）

### 一般相談センター

#### コロナに対して不安に思う場合

- 新型コロナのわからないこと
- 新型コロナへの不安
- 予防方法 など

☎電話相談

#### ● 山形県の一般相談センター

## 0120-567383

(フリーダイヤル、4回線)  
【受付時間 8:30~18:00、土日祝日含む】

#### ● 厚生労働省の電話相談窓口

## 0120-565653

(フリーダイヤル)  
【受付時間 9:00~21:00、土日祝日含む】

### こころの健康相談

#### ● 県精神保健福祉センター

## 023-631-7060

受付時間 月一金 9:00から12:00  
13:00から17:00

# 高橋けいすけ

## 県議会報告

No. 40  
2020年7月29日  
発行人/高橋啓介県議会議員

自宅/山形市高堂1-5-20-3  
☎023-643-4847  
県議会/県政クラブ執務室  
☎023-630-3211



## 「コロナ」に負けない 取り組みを県民と共に!!



◀吉村知事と山形県内の『新型コロナウイルス』感染拡大防止について、現時点の対応状況の意見交換をする高橋県議

「新型コロナウイルス」によって、県民の多くの方々が行動を制約され、結果として経済活動に大きな打撃を与えています。人類の歴史は、感染症との闘いでもあると言われていますが、治療薬やワクチンの開発によって、一日でも早く終息を迎えられればと願ってやみません。

**国会軽視・国民不在の予算編成** 先の通常国会における政府の対応には、多くの国民が驚いたのではないのでしょうか。東京検察庁の黒川問題もさることながら、何に使うのか判らない予算が「予備費」として「10兆円」計上されました。山形県の予算で考えると15年間分に相当する莫大なものです。それも国民が納めた貴重な税金です。その異常な予算を提案している安倍政権も酷すぎますが、政権与党を支えてい

る国会議員は何をを考え行動しているのでしょうか。「政権与党でないとなんも出来ない」…と選挙の度に聞かされてきましたが、今日の現状をどう説明するのでしょうか。異常な状態が、常態化する事によって「道理の通らない社会」になってしまいます。根底からこの国の民主主義が否定されることにつながってしまう危険性ははらんでいると言えます。数頼みの驕りの政治では、国民の生活を守る事は困難と考えます。

**新型コロナウイルス対策に全力** 早いもので、吉村県政も3期目の最後の年となりました。来年の1月には知事選挙が予定されています。自民党は、早い段階で候補者を決定し選挙の取り組みを進めています。

一方、吉村知事は新型コロナウイルスの感染防止と県内経済の回復に全力で頑張っており態度を明らかにしておりません。そのような中であっても、県政の将来の方向性を示した第4次総合発展計画を2月定例議会で決定致しました。人口減少に歯止めをかけ、住んで良かった山形県をめざし取り組みが行われております。

安心社会の実現に向け頑張っており参りますので、県政に対して声を寄せて頂ければ幸いです。

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com> 県議 高橋啓介 検索





6月定例議会

6月定例議会は、新型コロナウイルス対策費として補正予算を2度に亘って追加し、過去最高の総額574億6,300万円となりました。当初予算と合わせた一般会計予算総額は7,022億400万円。政府の第二次補正予算を受け、感染の第2波に備える対応の予算となりました。



新型コロナ対策補正総額574億63百万円

最初の補正では、医療従事者に対する特殊勤務手当の支給や避難所における感染症対策物資の備蓄、新生活様式に対応する事業者の設備等、県立・私立高校のオンライン学習の端末等とエアコン整備、さくらんぼ緊急安定対策や花き農家種苗経費補助、産業振興や経済活性化として消費応援クーポンや観光消費キャンペーンによる支援、商工業振興資金の拡充、学生や困窮者等の支援。

そして追加補正では、県からの要請に応じ、患者受け入れのための病床確保した医療機関に対する空床補償や新型コロナの影響で大きな減収が見込まれる3病院（県立中央病院・置賜総合病院・日本海総合病院）を支援。教育現場にあっては、臨時休校に伴う補習や児童生徒のフォローのための対応として全ての小中高校に対して学習指導員を配置。業務量が増加する教職員をサポートするスタッフの配置など。また、新型コロナ対応従事者（医療機関・社会福祉施設）や学童クラブ・保育所などの児童関係施設の職員に慰労金を給付。

更に、最終日で追加補正として民間医療機関（病院・歯科を含む診療所）に対しての医療支援金の補正予算と多岐に亘った支援内容となっています。

民間医療機関の減収に対する支援策

日本における医療崩壊を招かないために、民間医療機関に対する政府の支援が求められています。この事に対して吉村知事は、6月に新型コロナウイルスの影響によって経営が悪化している現状を政府に訴え支援要請を行っております。しかし、現段階で政府の支援は決まっておりません。そのような現状を踏まえ、議会最終日でありましたが、民間病院35箇所、歯科を含む診療所1,370箇所医療支援金を支給する事を決め提案しました。

国から県に交付されている臨時交付金は、民間医療機関の減収に充当できない事になっており、追加提案にあたって吉村知事は「県内全域で地域医療提供体制を守り抜き、第2波への備えとして医療機関の方々のモチベーションを高める意味も込めた」と提案理由の説明を行っております。

国の「予備費10兆円」を早急に充当すべきではないでしょうか。



来県者の検温業務を県職員が最前線で対応

朝日学園・特別支援校の整備方針具体化

老朽化が進み対応が急がれておりました県立朝日学園と特別支援学校（上山高等養護学校・山形盲学校）につきましては、6月定例議会で建て替えの具体的スケジュールが明らかになりました。この課題につきましては、何度となく取り上げ質して参りました。

県立朝日学園につきましては、寮の開始が令和4年・本館開設が令和5年そして令和6年度に体育館工事を予定。

特別支援学校の両校については、山形盲学校を上山高等養護学校の校地に併置し、両校を改築する事としております。校舎供用開始を令和8年4月以降の早い時期としておりますが、もう少し開設を早める事が出来ないか検討してまいります。

医療と介護の連携進む

(7/13 東南村山地域議員協議会の質問から)

これまで、バラバラだった入退院について、村山保健所が核となって村山管内（7市7町）統一したシステムについて関係者が協議を重ね、平成31年3月に「村山地域入退院支援の手引き」を作成し運用しておりましたので、その事に触れ質問いたしました。

私も、何度となく入院患者の家族の方々から、病院から退院を迫られている話や退院後の介護施設が無くて困っている話を伺っておりました。高齢化の進展に伴い、病院での治療と自宅等での介護・療養生活を繰り返す方が増えています。

この度の手引きでは、入院時から福祉部門のケアマネージャーが係わり、連携することで退院後の対応もスムーズに進むものと思われま。良いシステムを作って戴き、本当に有り難い事だと思っています。

この手引きを更により良いものとするため、見直ししながら進めることとしておりますのでお気づきの点がありましたら連絡頂ければ幸いです。

（「村山地域入退院支援の手引き」…インターネットで検索して頂ければ見る事が出来ます）

質問・要請事項

総務常任委員会

所管の総務常任委員会で大きく2点に亘って質問しました。

Q1 都市部で支給が大幅に遅れている「特別定額給付金」について、県内の現状について質問しました。

※特に、この度のコロナウイルス対応におきましては、スピード感が問われており、自治体間での事務執行が課題でありましたが、県内の35市町村が精力的に頑張っておりま。

A1 市町村課長 県内約40万5千世帯に対し、総額約1,054億8千万円を給付済で、給付率は全市町村で90%を超えた。総務省が公表している全国平均は57.9%（6月19日現在）で、山形県は大きく上回っている。高い給付率は、市町村職員の頑張りの成果。申請されていない世帯を把握し、個別に回って申請を促しているケースもあった。

Q2 水道の広域化についての取り組み状況を質問。この課題については、以前から質問してきました。人口減少に伴って給水量が減り、将来的には水道料金の高騰につながるため早い段階から準備を進める必要性を訴えてきました。地中の管路の更新や水道施設の老朽化、更に水道職員の削減等もあり、時間を置くほど後々大変になってまいります。

水道事業広域化推進へ

県内4ブロック 年度内に素案作成

A2 暮らし安心部参事 水道基盤の強化に向け、県内4圏域でそれぞれ検討会を重ねてきた。人口減少で給水量が低下し、水道施設の老朽化が進んでいる。検討会では市町村を越えた広域連携に向け、共通認識を持った。本年度は4ブロックで最適な水道のシステムパターンを設定し、これに基づき、2055年までの将来シミュレーションを行う。年度内に基本方針となる水道広域化推進プランの素案を圏域ごとに作りたい。

以上の2点について、「山形新聞」7月2日号で取り上げて頂きました。

高橋啓介 活動記録 2020年7月



▲九里学園高等学校 7/21コロナ対策と高等学校教育改革推進事業について説明を受ける。

▼東根市市役所 7/22「コロナ」禍での災害避難時の避難所の装備について、段ボールベッドや感染防止機材の説明を受ける。

